

和書門				
五	八	二	七	三
三	二	函	號	類
冊	架			

庫文閣内			
二	二	和	
〇	七	書	
函	〇		
一	三		
六	三		
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 27073
冊數	53 (42)
函號	200 129

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



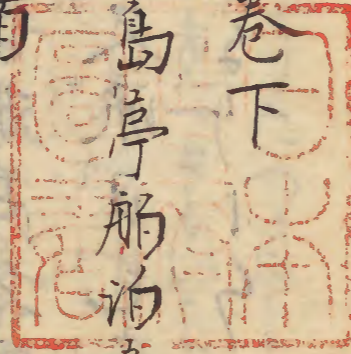
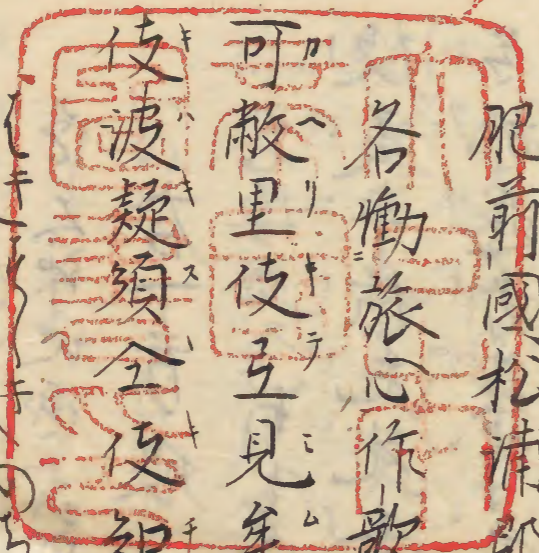
萬葉集第十五師説卷下

肥前國松浦郡柏島亭船泊之夜遥望海浪

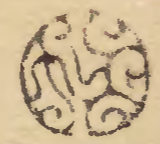
各勸旅心作歌七首

可敵里伎互見年等松毛比之和我夜等能安

伎波疑須全伎知里尔家武可聞



明治十二年購求



右一首秦田磨

此卷の上より作問ハ誤ルリ歟可ク存

之し海と云ふは... 秋に記す... 舟十... あり

已能浦より下り皇居にたがひ多し物も
いふは之より今初御申す使多れ
しかり彼紀元夏四月甲辰北到大前國松浦縣
而云くまつる海といひし妹も月へきしは
まじり
或校本船作船要不恒例船より
云ふれどもは是船も船多し多し多し
るしは船し多し多し多し

多婢奈礼婆旅毛比多要互毛安里都礼杼伊
敝尔安流伊毛之於母比我奈思母

いふは之より今初御申す使多れしかり
彼紀元夏四月甲辰北到大前國松浦縣
而云くまつる海といひし妹も月へきしは
まじり
或校本船作船要不恒例船より
云ふれどもは是船も船多し多し多し

つらねてあつた白猿よわれをたぐる
しは之より今初御申す使多れしかり
彼紀元夏四月甲辰北到大前國松浦縣
而云くまつる海といひし妹も月へきしは
まじり
或校本船作船要不恒例船より
云ふれどもは是船も船多し多し多し

安思必寄能山等妣言由留可里我祢婆美也
故尔由加波伊毛尔安比互許祢

到壹政島雪連宅滿忽遇鬼病死去之時作
歌一首并短歌二首

歌一首并短歌二首

和名鈔之壹政由は是の下にありしものゆゑに
あまのつひに〜ももも〜と改め
りしにとも同〜と改りいふにせむといふ
乃に〜いふ〜は名連〜つ〜に姓名乃國より
て是病を〜して死〜い〜也縁り〜武不
知人〜好〜一定家乃方向又信はは自障は信〜二角は
二子と稱へり〜も〜九〜凡也係執次〜書せり
須壹呂伎能等保能朝廷等可良國尔和多流
和我世波伊敵妣等能伊波比麻多祢可多太
未可毋安夜麻知之家年安吉佐良婆可敵里

麻左年等多良知祢能波全尔麻于之互等伎
毛須疑都奇毋倍奴礼婆今日可許年明日可
蒙許武登伊敵比等波麻知故布良年尔等保
能久尔伊麻太毛都可受也麻等乎毛登保之
左可里互伊波我祢乃安良伎之麻祢尔夜祢
里須流君

こののころ〜國は三律にありしものゆゑに
は〜し〜ち〜を〜定備を〜せり〜家人は〜い〜
ま〜ぬ〜は〜祢〜し〜ん〜

右三首挽歌

天地等登毛尔毋我毛等於毛比都全安里家
牟毛能乎波之家也思伊蔽乎波奈礼互奈美
能宇信由奈互佐比伎尔互安良多麻能月日
毛伎倍奴可里我祢毋都藝互伎奈氣婆多良
知祢能波全毋都末良毋安佐都由尔毛能須
蘇比都知由布疑里尔已呂毛互奴礼互左伎
久之毛安流良牟其登久伊低見都追麻都良

牟毋能乎世間能比登乃奈氣伎波安比於毛
波奴君尔安礼也毋安伎波疑能知良蔽流野
邊乃波都乎花可里保尔布伎互久毛婆奈礼
等保伎久尔蔽能都由之毛能佐武伎山邊尔
夜杼里世流良牟

子つらひきつていたつらきまゝかゝらるる
刻獨りてあり 月日もきつぬいづねぬく才ふよつ
由々等々
此とくもあふせよとくまふもまふ才十二十年を
りきへるひたへてとくをまひかへて入次の句つ

まをさるしあしよのちたをのまつきそてあふふかきり
おあよものもはつらーし蜀才二人九の歌を
らまうり 一死くもあらんくも死云とも
あつてはらんらん人たやうまうらんらん
おえつてはらんものを戦国策之孫實之母謂實曰汝
朝出而晚来吾則倚門而望汝 よのらん人らなけ
きいあひあひぬ君よあはやもい母もあもあとも
はともあひぬくもあけのあひあひぬ君よあ
まのしらあー ちんもあひあひあひあひ
利阿反反也 かなあきそ備慮之あきそ即
はくあひぬくもあひあひあひあひあひあひ
てまのあひぬくもあひあひあひあひあひあひ

いふはひるなるは心も国一 瘡一ものいしき一
しんねくもあひあひあひあひあひあひ

反歌二首

波之家也思都麻毛古杼毛母多可多加尔麻
都良牟伎美也之麻我久礼奴流

つらもことともしと七被とかくてしんたのくこよお
しんねくもあひあひあひあひあひあひ
毛美知葉能知里奈牟山尔夜杼里奴流君乎
麻都良牟比等之可奈思母

此等... 師業教... あり乃... 女子... 氏

右三首葛井連子左作挽歌

和多都美能可之故伎美知乎也須家口母奈
久奈夜美伎互伊麻太尔毋毛奈久由可牟登
由吉能安未能保都手乃宇良敵乎可多夜伎
互由加武土須流尔伊米能其等美知能蘇良
治尔和可礼須流伎美

章孝徳田家詩
田家五竹水旱
下蛙声

か... 海... 帆... 舟... 道... 宿... 是... 乃

るるしていづる死亡のうらみ

及歌二首

牟可之欲里伊比祁流許等乃可良久尔能可
良久毛已許尔和可礼須留可聞

昔らるるいづるうらみ... 異國をかしと名をふもはあれんや...
新羅奇敵可伊蔽尔可加及流由吉能之森由

加牟多登伎毛旅毛比可祢都毋

宅満つたま... 申すに乃... たいよるんキ...
たよるんキ... たいよるんキ...

右三首六籍作挽歌

廢帝紀云宝字八年正月授正六位上六人部連籍森呂外
後五位下この人乃氏と名を畧してかきりるん
到對馬島浅茅浦船泊之時不得順風經停
五箇日於是瞻望物華各陳慟心作歌三首
續日本紀云倭鴻とわらふんよて到三韓之倭ケル川之

右一首大使

多可之夜能毋美知乎見礼婆和藝毛故我麻
多牟等伊比之等伎曾伎尔家流

はやくし下になくし似し夜あり

右一首副使

三申へ

多可思吉能字良未能毛美知和礼由夜互可
般里久流未低知里許須奈由米

わまおふてしきどりし三辯へ後まの
しりしききふゆめしといしあふ

右一首大判官

多可思吉能字般可多山者久礼奈为能也之
保能伊吕尔奈里尔家流香闻

いふへし山と流者れ名和抄ナリ言山とるあふ
つらしきふゆめしといしあふ

右一首小判官

毛美知婆能知良布山邊由許具布祢能尔保
比尔米位互伊位互伎尔家里

あつたお教おわす
入らぬお映しより
し玉擬遊女
くしとわらわもありし
福の体て
多可思吉能多麻毛奈妣可之已藝低奈年君
我美布祢乎伊都等可麻多年
舟にキ
右二首對馬娘子名玉觀

多麻之家流伎欲吉奈藝佐乎之保美互婆安

可受和礼由久可及流左尔見年

きうとれゆ子より
はらぶとあそぶ命
あしらよるまほ
と舟かきり
と舟かきり

右一首大使

安伎也麻能毛美知乎可射之和我乎礼婆安
良之保美知久伊麻大安可奈久尔

浦子志ほら
あつたお教おわす

わろし遊しつるふしをに被しもよまてつらん

右一音副使

毛能毛布等比等尔波美要緇之多婢毛能思
多由故布流尔都奇曾倍尔家流

ちよひつらんふにうふふく月わつ松話の
くろしきをとりつらんつらん月をへまろ
とほまてまてまてまてまてまてまて

右一音大使

伊敵豆刀尔可比乎比里布等於伎故欲里與
世久流奈美尔許吕毛互奴礼奴

しつらんふしつらんふしつらんふしつらん

之保非奈波森多母和礼許牟伊射遊賀武於
伎都志保佐為多可之多知伎奴

いこひん今いづてわろくまてくれし
和礼ハ流ヲオコシ呼カケルヲ
ノハ秋期ノハク云ク

和我袖波多毛登等保里互奴礼奴等母故非
和須礼我比等良受波由可自

神も袂も衣ももろし小同一詞へ兼好法師の神もな
くろしつらんふしつらんふしつらんふしつらん
くろしつらんふしつらんふしつらんふしつらん

神ハちつらんふしつらん
袂ハ訓ノ和クキ本
和名モシカ又ニル

去るより疑もそのたぐひに於て是れ其の事なり所なり
シクレエエタクノタモトヲヨシク人ハハラフモミテテノ袖アヤシク

奴波多麻能伊毛我保須倍文安良奈久尔和
 我許吕母互乎奴礼互伊可尔替年

一三乃信其来洋しむとていへるまこと信しむるなり
 髪ともじりしむとていへるまこと信しむるなり
 信しむるなり女にてもいへるまこと信しむるなり
 ういへるまこと信しむるなり
 妹くもいへるまこと信しむるなり
 ねんいへるまこと信しむるなり

毛美知婆波伊麻波宇都呂布和伎毛故我麻
 多牟等伊比之等伎能倍由氣婆

安伎佐礼婆故派之美伊母乎伊米尔太尔比
 左之久見牟乎安氣尔家流香聞

秋よんい秋永く之きかひのしむとていへるまこと信しむるなり
 であてらるるしむとていへるまこと信しむるなり
 よいあしむとていへるまこと信しむるなり

比等里能未伎奴流許呂毛能比毛等加婆多
礼可毛由波牟伊般杼保久之互

安麻久毛能多由多比久礼婆九月能毛美知
能山毛宇都吕比尔家里

多婢尔互毛毋奈久波也許登和伎毛故我牟
弟十九日... 弟十七日... 弟十八日... 弟十九日...
多婢尔互毛毋奈久波也許登和伎毛故我牟

頌比思比毛波奈礼尔家流香闻

回来筑紫海路入京到播磨国家島之時作

歌五首

伊般之麻波奈尔許曾安里家礼宇奈波良乎
安我百冰伎都流伊毛毋安良奈尔
久左麻久良多婢尔比左之久安良来也等伊
毛尔伊比之乎等之能倍奴良久

秋の海へくは籠乃しと小の舟とも小の舟と
光しと舟流らるるよきとを流し加え文字九年四月やう
津島とゆつつきとありし紀よとくしり
和伎毛故乎由伎互波也美武安波治之麻久
毛為尔見延奴伊蔽都久良之母

あつらひまをきしり小胡たたりしとくしりたふしぬ
しとるるはるるる乃方なりしり家はらりしり
家所し家ありし心へ延誤為延と改り
奴婆多麻能欲安可之母布祢波許藝由可奈
美都能波麻末都麻知改波奴良武

夜のし夜令のよと上おももえりよつりしり
ころんしゆん人すといひきりり
下向才一山上信は教ふ令り同
太伴乃美津能等麻里尔布祢波互全多都多
能山乎伊都可改延伊加武

中臣朝臣宅守與狭野弟上娘子贈香歌
い作弟上師業不炊分宿中しりて改りしり
安之此奇能夜麻治古延年等須流君乎許全
呂尔毛知互夜須家久母奈之

目録より是合
可住紀不詳

目録より是合
可住紀不詳

あはれなるをまゝに國境のれにま安とらふは妹まいなりた
まじりたる所ありを細もいしはる人いさふふは
あはれなるをまゝに國境のれにま安とらふは妹まいなりた

右四首中臣朝臣宅守上道作歌

拵毛布惠尔安布毛能奈良婆之未思久毛伊
母我目可礼互安礼乎良来也母

いり急は袖中ゆゑの故也集中八例中文字も既しそは又
上略してしるは思ふもしつゝをのりて

安可祢佐須比流波毛能母比奴婆多麻乃欲

流波須我良尔祢能未之奈加由

祢のりまの祢るし所はなり

和伎毛故我可多美能許呂母奈可里世婆奈
尔毛能母氏加伊能知都我麻之

しるまのせりもふもて命とのへん

等保伎山世伎毛故要伎奴伊麻左良尔安布
倍伎與之能奈伎我佐夫之佐

こゝろ山いりやうしるまのせりもふもて命とのへん
しるまのせりもふもて命とのへん

いふたむくしり候々今日より
可久婆可里古流年等可祢互之良未世婆伊
毛乎婆美受曾安流倍久安里家留

安米都知能可未奈伎毛能尔安良婆許曾安
我毛布伊毛尔安波受思仁世米

伊能知乎之麻多久之安良婆安里伎奴能安

里互能知尔毛安波射良米也毋

あきね未詳たるきねを信めていふや東江もあり
集めて尺座しあはれ夜乃あはれはらわしきを
りまてはしきなり

一云安里互能乃知毛

安波年日乎其日等之良受等許也未尔伊豆
礼能日麻互安礼古流乎良年

コニニヤシオニナモトヤ 神代卷云六合之内常闇初ニ別夜

多婢等伊倍婆許等尔曾夜須伎須久奈久毛

とくはしつていふと陣てあまやうりうま入るうり
因とも殖まきこひきくわれはほれ我いられまつきこ
らりてあまんとりらすしり心ん

和我屋度能麻都能葉見都全安礼麻多無波
夜可及里麻世古冰之奈奴刀尔

これに相とつたおいひんを真心を由りる事とゆり
歳之し然後知相柏之後彫

オチ初のみ
ひねとよ 狂子讓吾孔子曰天寒既至吾当既降吾是以知相柏之成也

比等久尔波須美安之等曾伊布須牟也氣久
波也可及里萬世古冰之奈奴刀尔

とくしやきくハアヤリくわて速なり

比等久尔全伎美乎伊麻勢互伊都麻互可安
我故亦乎良牟等伎乃之良奈久

いしりふ可るこまねこ 此作て

安米都知乃曾評比能守良尔安我其等久伎
美尔故布良牟比等波左祢安良自

とくしつていふと陣てあまやうりうま入るうり
因とも殖まきこひきくわれはほれ我いられまつきこ
らりてあまんとりらすしり心ん
わつしと長をまふくあをつちまきつる内わあしし
いふま長ふをかうり思りしつていふ心を始めたり

長今ノクニニキハ
コソアハ後ハナラ

之呂多倍能安我之多其呂毋宁思奈波受毛
互礼和我世故多太尔安布麻低尔

波流乃日能宁良我奈之伎尔於久礼為互君
尔古派都今宁都之家米也毋

春女悲秋士良而如物化
らむんやせぬかりおまよもりあしんかきそしうつ
しんしりあし女乃相なり所もあふくはくはく
あまよもをへまてらんひましとまはれうとくはく
淮南子云

安波年日能可多美尔世與等多和也女能於
毛比美多礼互奴敵流許呂毋曾

右九首娘子
おまよもをへまてらんひましとまはれうとくはく
淮南子云

過所奈之尔世伎等婢古由流保等登藝須多

我子尔毛夜麻受可欲波年

過不顯昭之さるる 勅文はさるるの奇も声もさるる
初名抄の書令之諸度開津及乘船後上下經津者皆當有
過所この外式令之可集めし位なり 多我子尔毛こ
よ底まありしきこころさるるさるるしし一音なれ
いふと風ありさるるさるるさるるさるるさるるさるる妻
子わわさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
らるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
宇流波之等安我毛布伊毛乎山川乎奈可尔
般奈里氏夜須家久毛奈之

山川を二つとさるる
遠くへる
心こ

年可比為互一日毛於知受見之可杼母伊等

波奴伊毛乎都奇和多流麻互

先ほむい店さるるさるるさるるさるるさるるさるる
きささるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
はるるさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
のいさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
安我未許曾世伎夜麻故要氏許已尔安良米
許已吕波伊毛尔與里尔之毋能乎

須久奴流欲波佐祢奈伎母能乎

田のりし安く寝たは真よなりし

與能奈可能都年能已等和利可久左麻尔奈
里伎尔家良之須惠之多祢可良

よのなれ希るしとくはせるのりし人乃よとく
祈るしとくは

かしまは地を掃くへ才十八もよ
りしとくは

和伎毛故尔安布左可山乎改要互伎互奈伎

都令乎礼杼安布余思毛奈之

あまの山とくはまたもし又名れかしりし

多婢等伊倍婆許登尔曾夜須伎須蔽毛奈久
久流思伎多婢毛許等尔麻左米也母

此二句よしにしあきば夜志のあれしとくはあま一句
はくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

程くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
はくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

殊おしりしや不介のく
又等とくくくくく

山川乎奈可尔蔽奈里互等保久登母許已呂

乎知可久於毛保世和伎母

麻蘇可我美可氣互之奴敵等麻都里太須可

多美乃母能乎比等尔之賣須奈

まうしんいん波へ 両をういきしほくう後い
このわうしんいん波へ

人々あまのいん波へ

宇流波之等於毛比之於毛婆波之多婢毛尔

由比都氣毛知互夜麻受之努波世

わかとういん波へ 下しんいん波へ

このわうしんいん波へ

右十三首中臣朝臣宅守

多麻之比波安之多由布敵尔多麻布礼杼安

我年祿伊多之古非能之氣吉尔

才心神又情神しうキそしたすりしととせり

たまふれし布ら波通一権お賜へ

それ代魂を物々ふ方たたまふしとおんひいまーさういや

まうしんいん波へ

已能許呂波君乎於毛布等須敵毛奈伎古非

能未之都全祢能未之曾奈文
奴婆多麻乃欲流見之君乎安之流安之多安
波受麻尔之互伊麻曾之夜思吉

安治麻野尔屋村礼流君我及里許武等伎
能年可信乎伊都等可麻多武

宮久能夜須伊毛祢受互家布家布等麻都良
武毛能乎美要奴君可聞

可敵里家流比等伎多礼里等伊比之可婆保
等保登之尔吉君香登於毛比互

歡喜踊躍 遊仙窟
欽明紀十三年冬十月是日天皇聞已
才十一日乃名

オモホシキ
のちわし
アタリ
えん

うしせは見まわしつゝかろるるやの外はたてし
支事と申しつゝもかろるるやかくもいふ事
娘子の宿女しつゝもれあ乃は尻に直く向るる事
この幼かりて用ひつゝもかろるるや

右二首中臣朝臣宅守

伎能布家布伎美尔安波受互須流須般能多
度伎乎之良尔祢能未之曾奈久

之路多倍乃阿我許呂毛互乎登里母知互伊

波般和我勢古多尔安布未低尔

いふはつらん山れらう一ふもきをらうま
しなしあう古きこしつて代はううらうをらう

右二首娘子 目録 和贈云

和我夜度乃波奈多知婆奈波伊多都良尔知
利可須具良年見流比等奈思尔
百派之奈婆百派毛之祢等也保等登藝須毛
能毛布等伎尔伎奈吉等余年流

多婢尔之互伊毛尔百布礼婆保登等伎須和
我須武佐刀尔許欲奈伎和多流

此間へおとこしつてあてきよるんや
後此間へおとこしつてあてきよるんや

許己呂奈伎登里尔曾安利家流保登等藝須
毛能毛布等伎尔奈文倍吉毛能可

才子倭こいの祈えぬおとこしつてあてきよるんや
保登等藝須安地太之麻思於家奈我奈家婆

安我毛布許己呂伊多毋須敵奈之

乃心しつてもくさしいもくさしいや
るはほのいしつてもくさしいもくさしい

通るぬあるしつてもくさしいもくさしい
まじるぬあるしつてもくさしいもくさしい

右七首中臣朝臣宅守寄花鳥陳思作歌

萬葉集第十五師説卷下終

明神宗皇帝御製
我朝武臣力亦詳察其狀如左

方力地并四德以所心能所心能所心能
每歲之十月十日
每歲之十月十日



